

中国青銅器 の時代



#PRESS RELEASE

泉屋博古館
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM

BRONZE GALLERY

SEN-OKU HAKUKOKAN

約半世紀ぶりのリニューアル

MUSEUM



虎卣：殷後期／前11世紀
泉屋博古館蔵

世界最高峰の

コレクション

ふたたび

一堂に会する

東洋美術
最後の秘境

2025

4.26/8.17



きじんこ
夔神鼓
殷後期／前 12 世紀

見どころ



しきょうそん
鷓鴣尊
殷後期／前 13-12 世紀

01

泉屋博古館のシンボル、青銅器館が約半世紀ぶりのリニューアル。昭和のモダン建築の魅力はそのままに、展示ケースや内装を新調、より美しく、より見やすく生まれ変わりました。

02

いまから 3000 年前の中国、太古の奇想と超絶技巧によってあらわされた青銅器の数々。“カッコいい”から“かわいい”まで目白押しの造形美は、まさに「東洋美術最後の秘境」といっても過言ではありません。

03

はじめて中国青銅器に触れる初心者にも安心のイントロダクションを付し、さらに中国青銅器を深く知りたい中～上級者も納得の充実した解説を掲示。中国古代の世界にどっぷりと浸れる空間です。

かゆう
戈卣
殷後期／前 12-11 世紀



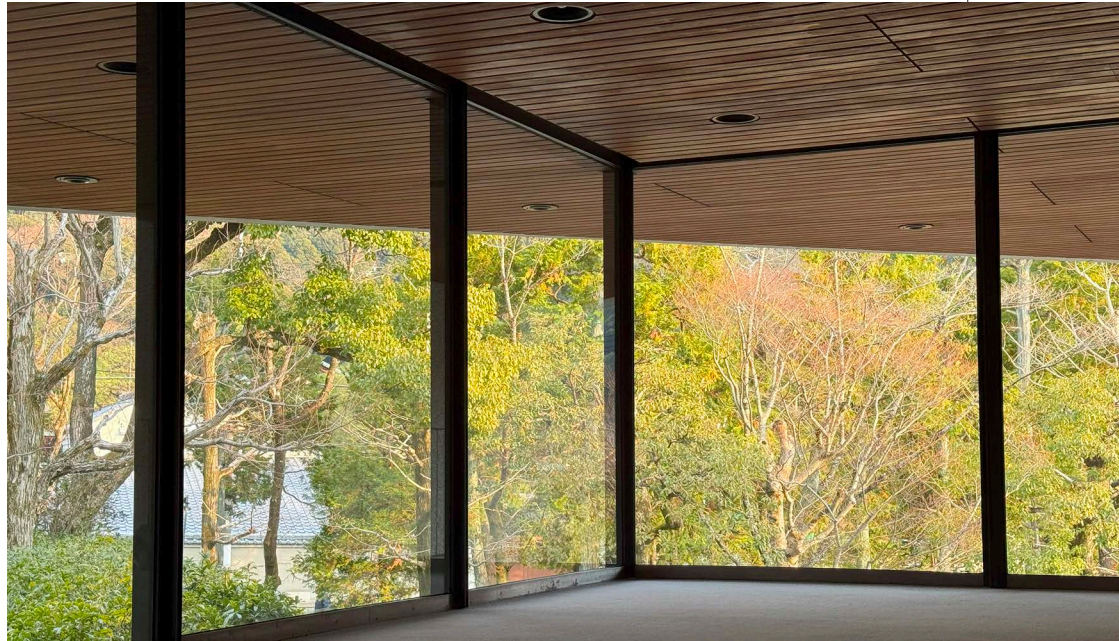
04

新たに「泉屋博古の庭」と東山の景色を眺めることのできるビュースポットが登場。濃密な鑑賞のあとは、緑豊かな自然の風景で心休まるひと時を。

えんかもんたい
円渦文敦
戦国前期／前5世紀



新たなビュースポット
「眺めのいい部屋」



青銅器館の展示を見終わって、入口のわきに新たに開通したゲートをくぐると、一気に視界が開け、ガラス張りの「眺めのいい部屋」で暖かな自然光を感じながらひと休み。自慢の泉屋博古の庭や中庭、さらには遠くに東山を一望することができ、自然豊かな鹿ヶ谷の風景もお楽しみいただけます。

05

リニューアルオープンにあわせて、中国青銅器の名品選を刊行予定。さらには待望の青銅器グッズも各種取り揃え、みなさまのご来館をお待ちしております。

重要文化財
がもんたいどうこうしんじんじゅうきょう
画文帯同向式神獸鏡
後漢末～三国／3世紀



こきょうじこう
虎鴉兕觥
殷後期／前13-12世紀



01

gallery

住友コレクション 名品大集合

いまから約 3000 年前、日本ではちょうど縄文時代が終わりにさしかかるところ、中国大陸では殷や周といった古代王朝が栄え、高度に発達した鑄造技術によって青銅器の数々がつくられていました。中国青銅器のもっとも大きな特徴は、儀礼用の容器が発達した点にあり、古代の超絶技巧によって、実用性と装飾性を兼ね備えた複雑な造形の青銅器が生み出されました。ギャラリー1は、住友コレクションの中国青銅器のなかでも選りすぐりの名品を一堂に会し、古代中国の世界へといざなうイントロダクションとなっています。



きじんこ
夔神鼓
殷後期／前 12 世紀

夔は一本足の妖怪で、その姿は龍にも牛にも似るとされる。その昔、黄帝がこの夔をとらえ、その皮を張った太鼓をつくって敲いたところ、その音は五百里先までとどろいたという。中国ではワニ皮を張った太鼓の実物も出土しているが、それを青銅でつくらせた例はきわめてめずらしく、世界に2点のみしか知られていない。

壘は中国古代の酒器の一種。器全体が精細な文様で覆いつくされ、優美な曲線美と直線的な鋭さが組み合わさった出色の造形を示す。中国古代の技術の高さが遺憾なく発揮されている。

どうてつもんほうらい
饗養文方壘
殷後期／前 12-11 世紀



BRONZE GALLERY

殷周時代の青銅器は普段使いの日用品ではなく、王侯貴族たちが祖先の神々をまつために用いた聖なる「おもてなし」の道具でした。そのため、青銅器にはかなり詳細な用途が決まっており、実際にそうした用途で使うための機能がそなわっているのが大きな特徴となっています。ギャラリー2では、青銅器の種類と用途を大きく食器・酒器・水器・楽器に分けてご紹介し、当時の人々がどのように青銅器を使っていたのかを想像できるよう展示を工夫しています。

青銅器の 種類と用途

gallery

02



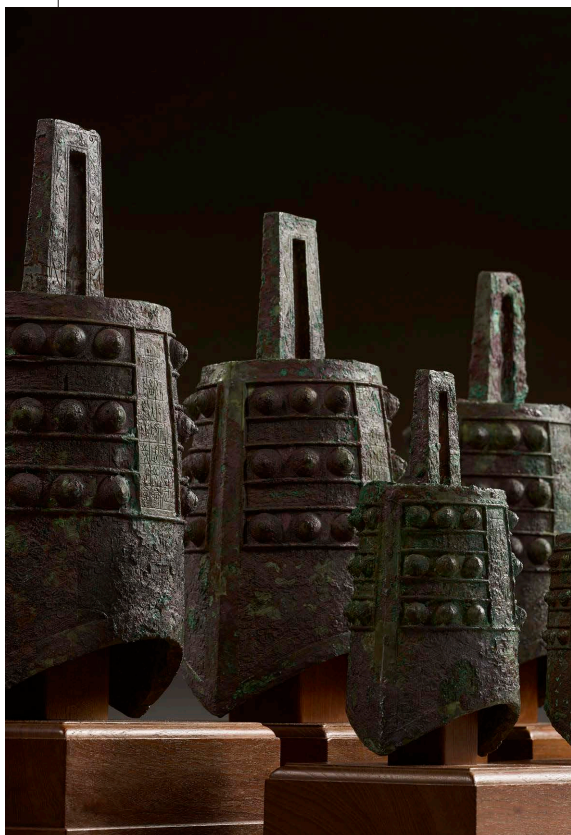
とうてつもんへいていしやく
饗養文平底爵
殷前期／前14世紀

三本足と非対称の形が特徴
の爵は酒を温めるための器

中空の三脚に水を入れ、下から加熱することでスチームを発生させ、蒸し料理をつくるための器。くびれた部分には内部にすのこが渡してある。



たいしゆうげん
大史友鬲
西周前期
前11-10世紀



ひょうきょうしやう
甬 鐘
戦国前期／前5世紀

鐘は青銅製の打楽器。コの字状の釣手を台に架け、撥で敲いて演奏する。1個につき異なる2音を奏でることができる

いまにも歩きだしそうな匜
は水を注ぐための器



せつきよくもんしそくい
竊曲文四足匜
西周後期／前9-8世紀



殷周青銅器にもっとも盛んに用いられたのが、獣の顔をあらわした饗養文(左)。しかし殷周時代当時の名称やあらわす意味については大きな謎に包まれている。

とうてつもんほうい
饗養文方彝 (文様部分を画像加工)
西周前期 / 前 11-10 世紀

具体的な用途がありながら、そうした機能とは相反するような複雑怪奇な造形を見せる殷周青銅器。ギャラリー3では殷周青銅器の文様・モチーフに焦点を当て、その魅力に迫ります。祖先をまつる聖なる器である殷周青銅器には、その表面を覆い尽くすようにさまざまな文様があらわされ、なかにはトラやミミズク、ウシなどの動物モチーフも数多く登場します。そうした文様が何を意味していたのかについては多くの謎がありますが、丁寧な解説とともに、劇的な造形の背後にある当時の人々の思想や信仰の世界を探っていきます。

gallery

03

BRONZE GALLERY

文様の モチーフ の謎

虎は大きく口を開け、ヒトを丸呑みにするようだが、ヒトの表情に恐れは読み取れず、自分から抱きつきにしているようにも見える。この器のあらわす意味については諸説あり、明確な答えはいまだ得られていない。

こゆう
虎卣
殷後期 / 前 11 世紀



重要文化財
画文帯同向式神獸鏡
後漢末～三国 / 3世紀
久津川車塚古墳出土

04

gallery

東アジア への広がり

祭政一致の殷周

時代が終わり、秦漢帝国が形成

されると、祭祀儀礼に用いられた青銅製の容器の製作は衰退しますが、代わって青銅鏡が数多くつくられるようになり、日本列島を含む東アジア世界へともたらされました。ギャラリー4では中国青銅器の影響力が東アジアへと広がる過程に注目し、日本列島でつくられた青銅器もあわせてご紹介します。

ほうかくきくしんきょう
方格規矩四神鏡
前漢末 / 前1-後1世紀



国宝
せんこくぶつしよぞんきょうぞう
線刻仏諸尊鏡像
平安 / 12世紀

BRONZE GALLERY

開催概要

展覧会名	中国青銅器の時代
会 期	2025年4月26日(土) — 8月17日(日)
開館時間	午前10時—午後5時 (*入館は午後4時30分まで)
休 館 日	月曜日、5月7日、7月22日、8月12日 (5月5日、7月21日、8月11日は開館)
入 館 料	一般 1,000 円(800 円)、学生 600 円(500 円) *学生ならびに18歳以下の方は証明書の提示が必要です *20名以上は()内の団体料金、障がい者手帳ご提示の方は無料 *本展覧会の入場料で企画展もご覧いただけます *6/10～6/20、8/5～8/17の期間は本展のみ開催 一般600円(500円) / 学生400円(300円) でご覧になれます
会 場	泉屋博古館 〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 Tel: 075-771-6411
主 催	公益財団法人泉屋博古館
後 援	京都市、京都市教育委員会、京博連、公益社団法人京都市観光協会 NHK 京都放送局、京都新聞
お問い合わせ	泉屋博古館 (広報担当: 坂井さおり 担当学芸員: 山本 堯) web: https://sen-oku.or.jp/kyoto/ e-mail: pr-kyoto@sen-oku.or.jp



泉屋博古館青銅器館外観

会期中の催し

関西の中国青銅器を所蔵する館が集まる関西青銅器サミット2025や、学芸員によるギャラリートークなど、特別なイベントも各種予定しています。詳細は以下の展覧会ページをご覧ください。

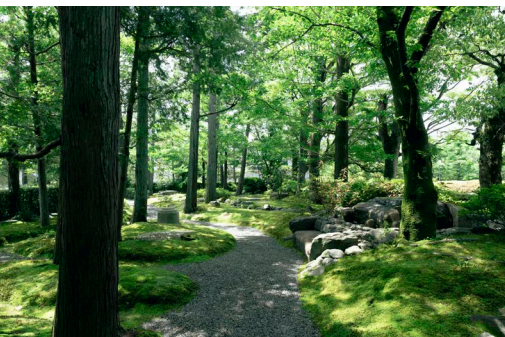
https://sen-oku.or.jp/program/20250426_bronzegallery/



右のQRコードからアクセス

交通アクセス

京都市バス	JR・新幹線・近鉄電車「京都駅」／京阪電車「三条駅」から5系統 阪急電車「烏丸駅」から32、203系統 地下鉄烏丸線「丸太町駅」から93、204系統
	5、93、203、204系統: 「東天王町」下車、東へ徒歩200メートル 32系統: 「宮ノ前町」下車すぐ
地 下 鉄	東西線「蹴上駅」から徒歩約20分



泉屋博古の庭

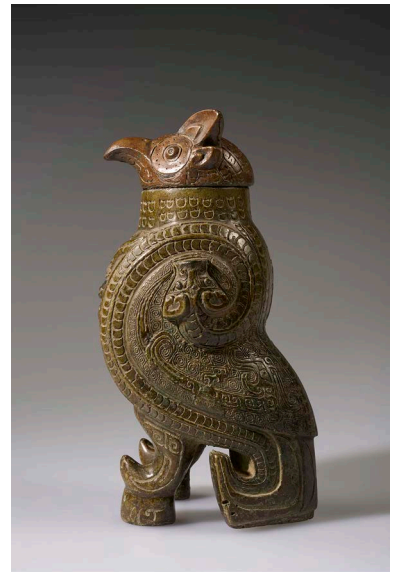
貸出可能画像 (*すべて泉屋博古館蔵)



こゆう
虎缶
殷後期／前 11 世紀



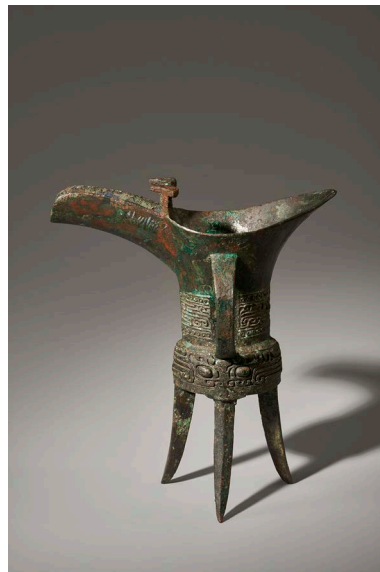
きじんこ
夔神鼓
殷後期／前 12 世紀



しきょうごん
鷓鴣尊
殷後期／前 13-12 世紀



かちゅう
戈缶
殷後期／前 12-11 世紀



とうつもんへいていしゃく
饗養文平底爵
殷前期／前 14 世紀



とうつもんほうらい
饗養文方壺
殷後期／前 12-11 世紀



ほうかくしきししょう
方格規矩四神鏡
前漢末／前 1- 後 1 世紀



重要文化財
がもんたいどうこうしきしんじゅうきょう
画文帯同向式神獸鏡
後漢末～三国／3 世紀



国宝
せんこくぶつしよぞんきょうぞう
線刻仏尊鏡像
平安／12 世紀